

令和4年度事業報告書

令和4年（2022年）10月～令和5年（2023年）9月

NPO 法人あっとオーティズム

1. 活動の成果

NPO 法人あっとオーティズムは、自閉スペクトラム症（ASD）・発達障がいのある子どもたちとその家族が直面する困難への支援、および ASD・発達障がい等の社会理解促進のための啓発活動を行いました。

ASD・発達障がい等のある子どもたちとその家族に対する相談事業、子どもたちの特性理解を学ぶ場の提供、立ち後れている社会理解を促進するため、

療育事業として、発達障がい（ASD）、その他の知的障がいのある子どもの療育、またそのご家庭への家庭でできる療育的指導の支援、相談を行いました。

啓発活動として、世界自閉症啓発デーおよび発達障害啓発週間にライト・イット・アップ・ブルー（以下 LIUB）キャンペーンを行いました。また理事長による ASD および発達障がいの特性理解を促進する講演活動を各地で行いました。

発達相談・情報提供事業として、ASD 等のある子どもの保護者を対象に個別の無料相談を受けました。障がい福祉に係る情報提供の環境整備を芦屋市内の関連団体とともに行いました。

交流事業として、障がいのある子どもたちが無理なく映画を楽しむ機会を提供して下さる OS シネマ様、またスペシャルニーズのある子どもがお仕事体験ができるようキッズニア甲子園様から依頼を受け招待の案内をしました。

(1)療育事業について

発達障がい（ASD）、その他の知的障がいのある子どもの療育、またそのご家庭への家庭でできる療育的指導の支援、相談を行いました。特に保護者の相談には力を入れ、療育専門の指導者が対象となる児童の学校の支援員の方への支援として、場面場面での対応の方法、教材提供の協力もしました。今後は、療育支援事業として、職員研修、学校訪問など、保護者や学校での支援をする先生へのニーズに合わせたサービスを広げたいと思っています。

(2)啓発活動について

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan2023」日本各地への普及

ライト・イット・アップ・ブルー（LIUB）は、世界中がつながりオーティズム（自閉スペクトラム症/ASD/発達障がい）の啓発を行うキャンペーンです。当法人は今年度も LIUB 日本大使として理解促進のため LIUB Japan 実行委員会を立ち上げ、関連機関、団体、一般企業、一般市民の皆様を含む全ての人々への呼びかけを目標に LIUB キャンペーンを開催いたしました。

LIUB キャンペーンは 172 カ国以上がつながり開催されました。新型コロナの影響を受けながらもライトアップの数は北海道から沖縄まで 403 ヶ所以上、参加団体企業は 1200 以上および自閉スペクトラム症（ASD）・発達障がいの啓発を継続することができ理解促進の一助になったのではないかと思います。

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan 2023」写真ダイジェスト（別紙）

「地元芦屋、神戸での LIUB イベント」開催

[芦屋イベント]

ASD のある子どもたちが主役のイベントはコロナ禍により 2023 年も開催を断念しました。芦屋のイベントは親子クッキング体験などで「できた！」という成功体験ができるソーシャルスキルとレーニングの一環として行なっております。また調理過程を見ることで食べられるようになるお子さんもいることから、またこのようにチャレンジできる機会を提供できるようになって欲しいと願っています。

[神戸イベント]

LIUB 神戸イベントは、兵庫大仏能福寺にて開催されました。ASD のあるシンガーソングライターTAKERU とピアニスト西濱優衣香さん、バイオリニスト近藤楓佳さんによるライブ演奏が行われ、Youtube チャンネルで配信しました。LIUB Japan 実行委員長が国連総長の世界自閉症啓発デーによせたメッセージを読み上げ、大阪教育大学名誉教授竹田契一先生に登壇いただきました。兵庫大仏の点灯式ではブルーにライトアップした大仏さまと参加者による記念写真撮影が行われました。

神戸三宮センター街における LIUB チラシ・啓発リーフレット・風船・啓発バッジ 200 組の配布はコロナの影響で見送られました。

阪急百貨店うめだ本店 9 階祝祭広場にて毎年出演しているチャリティートークイベント今年度は 4 月 1 日に行われ、ASD および発達障がいの特徴について動画とトークによる周知活動を行いました。

日本での LIUB は今年で 13 回目を迎えました。LIUB キャンペーンの実施継続により、多くの自治体、企業、マスコミ、一般市民が自閉スペクトラム症への関心を高めており、今後もより一層の理解へと繋げていきたいと思えます。

(3)相談事業について

無料の相談室では、子供の発達に不安を持つ保護者らの相談を受け、個々の状況に応じたアドバイスを行い、適切な療育を受けることのできる場所を紹介するなど情報提供を行いました。また、当法人のメンバーらが母親としての目線から、小さなお子様を育てている相談者へ経験談や情報の提供を行いました。障がい福祉に係る情報提供の環境整備を芦屋市内の関連団体とともに行いました。障がい福祉に係る情報提供の環境整備を芦屋市内の関連団体とともに取り組みました。

(4)交流事業について

OS 株式会社（共催：阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト）様から「誰もが映画を楽しみ、感動を分かち合える社会の実現を目指した映画上映会」、障がいのある人が安心して映画鑑賞できる機会をいただき、また阪急阪神ホールディングス株式会社様から ASD および発達障がいのある子どもたちにこども向けの職業体験キッズ甲子園の入場チケットを提供いただき、当事者ご家族へご案内しました。

2. 特定非営利活動にかかる事業

(1)療育事業

日時：令和4年9月～令和5年9月

発達障がい（ASD）、その他の知的障がいのある子どもの療育、またそのご家庭への家庭でできる療育的指導の支援、相談を行いました。

参加料：無料

(2)自閉スペクトラム症(ASD)についての啓発事業

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan 2023」主催

日時：令和5年4月2日 日没後

場所：全国各地 参加者：不特定多数 入場料：無料

参加施設：ライトアップ施設 403ヶ所以上

後援：内閣府、外務省、厚生労働省、文部科学省、国土交通省、兵庫県、神戸市、芦屋市、兵庫県社会福祉協議会、一般社団法人日本自閉症協会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク(JDD)、特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

運営費用：協賛（株式会社神鋼不動産、株式会社布引コアコーポレーション、早駒運輸株式会社神戸シーバス、社会福祉法人光朔会オリンピック、株式会社 日穀、小倉サンダイン株式会社、佐伯商事 他）
阪急阪神ホールディングス、個人寄付金、事業収入等

「ライト・イット・アップ・ブルー Japan 2023」関連イベント

「H2O サンタイイベント（チャリティートーク）」

日時：2023年4月1日

場所：阪急百貨店うめだ本店 9階祝祭広場

「LIUB2023 神戸イベント」

日時：2023年4月2日 17時～20時

場所：兵庫大仏能福寺

ピアノとバイオリンの調べ/TAKERU LIVE：能福寺講堂

司会：谷口享子

ライブ：TAKERU/ ピアニスト西濱優衣香さん、バイオリニスト近藤楓佳さん

講演：大阪教育大学名誉教授竹田契一先生

ライトアップ：兵庫大仏前

「三宮センター街 LIUB チラシ配布」中止

「芦屋イベント」中止

(3)発達に関わる相談及び情報提供事業

母の相談室

日時：令和4年10月～令和5年9月 随時 場所：リード芦屋・オンライン

参加者：延べ6名 相談員：佐伯比呂美 参加料：無料

いつでも気軽に悩みを相談したり、先輩の育児経験者らのアドバイスを聞くことのできる相談室として、茶話会や進路交流会を開催していきたいと考えております。

(4)余暇活動及び文化、芸術活動を推し進める交流事業

映画上映会

■新型コロナウイルス感染防止の観点から実施しませんでした。

こども向け職業・社会体験施設

■実施日時：2022年11月中旬～2023年3月31日

■実施場所：キッズニア甲子園（施設HP：<https://www.kidzania.jp/koshien/top>）

3. 事業実施体制

(1)会合に関する事項 定例会、打ち合わせ会：年間約137回

市長への要望書提出および事前打ち合わせ 8回

第12期通常総会：令和4年11月24日 12名出席

(2)事務局体制 ①事務局長：佐伯比呂美 ②事務局スタッフ：2名

(3)会員 ①個人正会員 12名

(4)ボランティア

管理部門 活動時間年間数約79時間

啓発事業 活動時間年間数約84時間

(5)連携グループ 一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDD）エリア 会員

KOBE 三宮・ひと街創り協議会 ザ・ファースト 会員

(6)受入評価益

受け入れた役務、サービスについては、活動計算書に計上し、その詳細を別紙にて記載しました。多くの皆様にご支援いただき、本年度の事業が行われました。

（資料A）ボランティアによる役務の提供

（資料B）施設の提供等物的サービスの受入

(7)その他 2023年8月より当法人の事務所として、「芦屋ロイヤルホームズ104号室」を株式会社佐伯商事から賃借しています。

(資料 A) ボランティアによる役務の提供

日付	事業名	氏名	時間	金額	算出根拠
R4.10 ~ R5.9	<u>管理部門</u>	事務ボランティア（会計・庶務） 事業場：42 時間、在宅：37 時間 伴野 誠	のべ 79 時間	960 円×79h 計 75,840 円	兵庫労働局による最低賃金
R4.10 ~ R5.9	<u>啓発事業</u>	SNS 関連、ポスター制作、パネル製作 清水健三 佐伯有砂 森村杏奈 佐伯龍之介	のべ 84 時間	960 円 x84h 計 80,640 円	兵庫労働局による最低賃金
	合計			156,480 円	

(資料 B) 施設の提供等の物的サービスの受入れ

R5.4.2	<u>啓発事業</u> LIUB Japan 2023	あっとオーティズムより依頼 34 施設（明石海峡大橋、兵庫大仏（能福寺）、明石市立天文科学館、錨山、しあわせの村 他） 各施設ライトアップ費用		100,000 円×34 施設 3,400,000 円	一般社団法人神戸港振興協会に問い合わせた電飾プログラム作成にかかる費用による。
R5.4.2	<u>啓発事業</u> LIUB Japan 2023	(株)フロンティアプラス 芦屋市東芦屋町 1-16-402 入稿作業、web バナーデザイン等		120,000 円	(株)フロンティアプラスに問い合わせた通常にかかる費用による。
	合計			3,520,000 円	

活動計算書

令和4年10月1日から 令和5年9月30日まで

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	55,000		
賛助会員受取会費	0	55,000	
2. 受取寄付金			
寄付金	2,280,365		
協賛金	480,000		
ボランティア受入評価益	156,480		
施設等受入評価益	3,520,000	6,436,845	
3. 事業収益			
啓発グッズ販売収益	460,600	460,600	
4. その他収益			
受取利息	15		
雑収入	0	15	
経常収益計			6,952,460
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
ボランティア評価費用	80,640		
人件費計	80,640		
(2)その他経費			
旅費交通費	22,600		
通信運搬費	144,431		
啓発グッズ費	151,811		
会議費	54,044		
活動交際費	3,660		
業務委託費	0		
諸謝金	205,000		
印刷製本費	75,060		
事務消耗品費	65,970		
広告宣伝費	114,080		
支払手数料	4,015		
雑費	0		
施設等評価費用	3,520,000		
その他経費計	4,360,671		
事業費計		4,441,311	
2. 管理費			
(1)人件費			
ボランティア評価費用	75,840		
人件費計	75,840		
(2)その他経費			
会議費	24,058		
家賃	1,826,000		
会費	41,000		
支払手数料	60,181		
その他経費計	1,951,239		
管理費計		2,027,079	
経常費用計			6,468,390
当期経常増減額			484,070
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正益		0	
経常外収益計			0
III 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			484,070
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			484,070
前期繰越正味財産額			1,861,305
次期繰越正味財産額			2,345,375

法人名： NPO法人あっとオーティズム

貸借対照表

令和 5 年 9 月 30 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,427,375		
流動資産合計		2,427,375	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	121,000		
固定資産合計		121,000	
資産合計			2,548,375
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	203,000		
流動負債合計		203,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			203,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,861,305	
当期正味財産増減額		484,070	
正味財産合計			2,345,375

計算書類の注記

[NPO法人あっとオーティズム]

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2011年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として注記しています。詳細は事業報告書に記載しています。
- (2) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。詳細は事業報告書に記載しています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	療育事業	啓発事業	相談事業	交流事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	55,000	55,000
2. 受取寄付金	0	3,789,157	0	0	3,789,157	2,167,688	5,956,845
3. 協賛金	0	480,000	0	0	480,000	0	480,000
4. 事業収入	0	460,600	0	0	460,600	0	460,600
5. その他収益	0	0	0	0	0	15	15
経常収益計	0	4,729,757	0	0	4,729,757	2,222,703	6,952,460
II 経常費用							
(1) 人件費							
ボランティア評価費用	0	80,640	0	0	80,640	75,840	156,480
人件費計	0	80,640	0	0	80,640	75,840	156,480
(2) その他経費							
旅費交通費	0	22,600	0	0	22,600	0	22,600
通信運搬費	0	144,431	0	0	144,431	0	144,431
啓発グッズ費	0	151,811	0	0	151,811	0	151,811
会議費	0	54,044	0	0	54,044	24,058	78,102
活動交際費	0	3,660	0	0	3,660	0	3,660
業務委託費	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	205,000	0	0	205,000	0	205,000
印刷製本費	0	75,060	0	0	75,060	0	75,060
事務消耗品費	0	65,970	0	0	65,970	0	65,970
家賃	0	0	0	0	0	1,826,000	1,826,000
広告宣伝費	0	114,080	0	0	114,080	0	114,080
会費	0	0	0	0	0	41,000	41,000
支払手数料	0	4,015	0	0	4,015	60,181	64,196
ホームページ管理費	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0
施設等評価費用	0	3,520,000	0	0	3,520,000	0	3,520,000
その他経費計	0	4,360,671	0	0	4,360,671	1,951,239	6,311,910
経常費用計	0	4,441,311	0	0	4,441,311	2,027,079	6,468,390
当期経常増減額	0	288,446	0	0	288,446	195,624	484,070

3 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金額	算 定 方 法
各施設ライトアップ費用(啓発)	3,400,000	(社)神戸港振興協会に問い合わせた利用料金によって算定しています。
チラシ等デザイン費用(啓発)	120,000	一般的なポスターデザインに係る概算費用による。

4 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
管理部門ボランティア	75,840	単価は兵庫労働局の最低賃金によっています。
啓発活動ボランティア	80,640	単価は兵庫労働局の最低賃金によっています。

5 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)受取寄付金	5,956,845	1,977,000

法人名： NPO法人あっとオーティズム

財産目録

令和 5 年 9 月 30 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	25,160		
ゆうちょ銀行	800,454		
池田泉州銀行1	648,923		
池田泉州銀行2	952,838		
流動資産合計		2,427,375	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	121,000		
固定資産合計		121,000	
資産合計			2,548,375
II 負債の部			
1. 流動負債	203,000		
流動負債合計		203,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			203,000
正味財産			2,345,375